

HANAMIZUKI

はなみづき

学報 vol.47

2018年

山陽女子短期大学

〒738-8504 広島県廿日市市佐方本町1-1
TEL(0829)32-0909 FAX(0829)32-0981<http://www.sanyo.ac.jp>

発行責任者 石永 正隆

印刷 大村印刷株式会社



第55回 陽月祭を終えて

第55期陽月祭実行委員会 委員長
食物栄養学科 栄養調理コース 2年

古田 萌葉



今年の陽月祭は2日間とも天候に恵まれて無事終えることができました。

例年よりもテーマへの投票やポスターのイラストの応募など、多くの学生と協力し準備を重ねることができ、まさにテーマの「Prism」に沿った陽月祭だったと思います。また初の試みとして、SNSに思わず載せたくなるようなスペースを実行委員で手作りし、学校の至る所に飾りました。多くの方が楽しんでくださっている姿を拝見することができ、とても嬉しかったです。

今年の2年生実行委員は特に人数が少なく大変でしたが、1年生実行委員や学生の皆さん、先生方の協力もあり当日を迎えることができました。改めてお礼申し上げます。また、ご来場頂いた全ての方々からもたくさんのお言葉を頂き感謝の気持ちでいっぱいです。

来年は、また違った陽月祭を後輩達が作ってくれると思うので、どうぞご期待ください。

学内展示等

人間生活学科・専攻科

- 病院なんでもクイズ・医事コンピューター & 電子カルテの入力体験
- 3Dプリンタ一体験 心理テスト
- 学会発表展示



食物栄養学科

- あなたの食事バランスをチェックしませんか?
- 食物栄養学科の学習やサークル活動紹介
- パウンドケーキの販売
- 食物パザー・加工パザー Sanjoレストラン



臨床検査学科

- 白血球をさがせ!!
- ～体のミクロからマクロまで～
- カラフル培地と細菌の世界
- 四肢誘導で心電図をとろう
- 白衣で実習体験





学外実習等

豪州医療福祉研修に参加して



私は9月1日から12日間行われた豪州医療福祉研修に参加しました。海外に行くのは初めてで、本学からは私一人の参加だったので、パスポートの申請から荷物の準備など、分からぬことがたくさんありましたが、引率の先生がおられたので安心して出発することができました。オーストラリアへ向う飛行機から見た青空がとてもきれいだったことが印象に残っています。

現地では、ホームステイをしながら、午前中は南クイーンズランド大学でオーストラリアの地理や歴史、文化を学び、午後は高齢者施設や幼稚園、病院、アボリジニの博物館を訪問したり、高齢者への給食配達のボランティアをするという日課でした。高齢者施設や幼稚園には浴衣を着て訪問して歌を披露しました。また、折り鶴の折り方を説明すると、とても喜んで頂きました。幼稚園の子どもたちには紙飛行機が大人気でした。

南クイーンズランド大学の先生方、ホストファミリーや一緒に研修に参加した愛知文教女子短期大学の学生さん、訪問先の現地の人々など多くの出会いがあり、雄大な自然の中で生きる珍しい動物たちとも触れ合いました。コアラセンターでコアラを抱っこした時は感動しました。こうした多くの出会いのなかで、オーストラリアの食事や文化、習慣を学ぶことができ、どれも貴重で楽しい思い出となりました。

私は英語があまり話せないので、身ぶり手ぶりを交えて現地の人たちとコミュニケーションをとっていましたが、意外と伝わるものだと思う反面、もう少し英語が話せたらもっと楽しい研修になっていたのではないかと思いました。仲良くなった愛知文教女子短期大学の学生さんとまた一緒に南クイーンズランド大学に行きたいです。今回の研修に参加して本当によかったです。



インターンシップ(病院実習体験記)を終えて

人間生活学科 医療事務情報コース2年 大谷 優希



私は山口労災病院で、10日間の実習をさせていただきました。医事課の様々な係の業務を体験し、授業では学ぶことのできない業務が多くありました。

受付業務では、保険登録時の本人確認の重要さを学びました。また、患者さんとのコミュニケーションをとること、特に高齢の方には、「ゆっくりはっきり話す」ことを心がけておられました。

医療秘書業務では、医師が診察する際のカルテを簡潔にまとめることや、問診票を入力する業務等を体験しました。サマリーや診断書作成の際には、カルテから情報を読み取る力が必要で、自身の知識の足りなさを感じました。

診療情報管理室では、サマリー入力の業務をさせていただきました。病名には、ICD-10コードがつけられていました。学校で学んだことが実際の現場で行われていて、とても良い経験となりました。

多くの業務を見学・体験することで、スタッフ同士がコミュニケーションをとることの大切さ、病院全体の連携を感じることができました。今後も勉学に励み実習を通して学んだことを活かしていきたいと思います。

インターンシップ(企業)を終えて

人間生活学科 人間心理コース 2年 藤川 舞耶



私は夏季休業中の4日間、三次市にある結婚式場グランラセーレ三次にてインターンシップの実習をさせて頂きました。グランラセーレ三次では、主に結婚式の披露宴会場の設営やお客様の出迎えを体験しました。また、結婚式当日には挙式や披露宴を見学することができ、とても貴重な体験をしました。

4日間の実習を通して、働く上で大切なことや職場での人の接し方など、多くのことを学ぶことができました。特に印象に残っているのは、出迎えの際にスタッフの方が不安そうなお客様に「何かお困りでしょうか」と声かけをされていたことです。人と関わる仕事をするために、常にお客様のことを意識し、気遣いをすることがとても大切なことだと気づきました。

結婚式当日、幸せなお客様の顔を拝見し、このような素敵な場面に携われたことを嬉しく思い、やりがいを感じました。今回の実習で学ばせて頂いた多くのことを、これから社会に出た時に生かしていきたいと思います。

栄養士校外実習(病院)を終えて

食物栄養学科 栄養管理コース 2年 井場 なづな



私は、栄養士校外実習で広島西医療センターに行かせていただきました。5日間の実習期間で食事管理、糖尿病バイキングへの参加、約束食事箋について、厨房業務、昼食時の病棟訪問、施設内見学、衛生管理についてと多くのことを学びました。中でも糖尿病バイキングは世界糖尿病デー当日に開催され、一大イベントでした。私達実習生はバイキングでの献立説明をしました。「はっきりゆっくりと大きな声で話す」ことを特に意識し本番に臨みました。本番ではリラックスして話すことができ、良かったと思いました。また料理を手渡した時に「ありがとう」と言ってください、帰り際に「美味しかったよ」と言っていたとき、とても嬉しかったです。患者さんと直接ふれあえて私自身にとってとても貴重な体験となりました。

私が栄養士として社会に出た時、校外実習で得た経験を活かし、食から元気と笑顔を届けられる人になりたいです。

学外実習等

栄養士校外実習(施設)を終えて

食物栄養学科 栄養管理コース2年 三浦 園実



私は広島市五日市南地区学校給食センターで、5日間の校外実習をさせていただきました。

私が実習で様々なことを見学・体験させて頂く中でとても強く感じることがありました。それは、調理に関わっている方全員が「安全で美味しい給食を提供する」という同じ意識を持ち、すべての作業が行われていたことです。衛生管理を確実に行い、食べる人のことを考えて調理されている現場を体験した上で、給食を提供する立場としての責任の重さを実感しました。実習中に教えて頂いた事はたくさんありますが、すべて私の貴重な財産です。

また、小学校へ訪問させて頂きました。子供たちに伝えるためには、目線と話す速度が非常に大切である事が実感でき、大変勉強になりました。子供たちが、私の話に熱心に耳を傾けてくれていたので、自信を持って話すことができました。

短い期間でしたが、校外実習は多くを学んだかけがえのない時間となりました。

病院見学実習を終えて

臨床検査学科 臨床検査コース1年 村上 文耶



私はJR広島鉄道病院を見学させて頂き、勉強し知識を身に付ける大切さを学びました。病院には多くの検査室があり、その一つ一つについて説明を受けました。その中で私が一番心に残ったのは血液検査室です。

血液検査室では疾患のある患者さんの血液を見せて頂きました。二人で見ることが可能な顕微鏡を使用して二人の患者さんの血液について説明を受けました。私が顕微鏡で観察すると、二つ血液はまったく違うように見えました。

一体何の疾患か気になり質問すると、二つは違うパターンの白血病でした。二つの白血病の治療方法の違いや形状の違いを教えて頂きました。その大きな違いにとても驚きました。説明を受けた時、事前に学校の実習で正常な状態を勉強していたため理解しやすかったです。

この経験から、勉強により知識を身に付ける大切さを実感することができました。これからも自身の成長のために勉強を頑張りたいと思いました。



シスメックス見学を終えて

臨床検査学科 臨床検査コース2年 新 萌乃佳



今回見学をして、医療機器や試薬などを見ることができ、私たちは特に最新の機器にとても驚きました。実習では、自分たちで塗抹標本を作ったり、観察したり、血球を算定したりしていましたが最新の機器では全自動で測定してくれるのをその間に検査技師は人にしかできない業務を行えるという利点があることを教えて頂きました。他にも機器の故障に対応するために、本当に機器が悪いのかそれとも試薬の問題なのかを知るため、機械だけではなく試薬も作っているということを教えて頂き、試薬を作る理由はそういう所にあるということも学ぶことが出来ました。

検査機器にもたくさんの種類があり、免疫、血液、尿、乳癌や日本では販売されていないマラリアのための検査機器があり、見たことがないものもあったので今後就職先や実習で使うのが楽しみです。

この見学で病院だけでなく企業に就職するという幅も広がり、自分達が使う機械のことも知ることができ将来を考えるよい機会になりました。



臨地実習を終えて

臨床検査学科 臨床検査コース3年 林 結衣



私は4月16日から8月2日の約4か月間週4日、広島大学病院で臨地実習をさせていただきました。実習の中で、一番印象に残っていることは感染対策チーム(ICT)、栄養サポートチーム(NST)などのチーム医療に参加させていただいたことです。そこでは、臨床検査技師としての専門的な知識を生かし分かりやすく医師や看護師などに意見を述べられている姿を見て、私も将来同じ土俵に立てるよう日々勉強し、人に伝える力を身に着けたいと思いました。

また、患者さんの検査データを正しいと保証するための精度管理や、入院患者、来院者、医療従事者を守るために感染対策など、患者さんを検査するだけでなく患者さんへの信頼を高めるために臨床検査技師は様々な取り組みをしていることがわかりました。

今回、実習で学んだことは、これから自分の将来自分がどのように活躍する臨床検査技師になりたいかを考えるとても良い機会になりました。しっかりと生かしていくと思います。



着実に知識と技術を身に付ける

人間生活学科人間心理コース 2018年3月卒 武石 実樹



私は山陽女子短期大学卒業後、4月から株式会社中本本店にDTPオペレーターとして勤務しています。印刷物のレイアウト等をお客様の指示に沿って校正するというのが業務内容です。InDesignやIllustratorの使用経験が無く、何もかもがゼロからのスタートだった私は、ソフトの操作や機能を覚えることすら間に合っていない状況です。

印刷や文字組ルール等の知識も無く、毎日が質問で溢れていますが、職場の皆さん方が本当に優しく丁寧に教えてくださり、少しずつ出来ることが増えたように思います。難しいことが多いですが、印刷物が自分の作業も含めた全ての工程を経て出来上がったときの達成感は非常に大きいものです。そして、ひとつの「もの」がどれだけ多くの人々の慎重な作業によってつくられているかを日々実感しています。

今はご迷惑ばかりおかげですが、知識と技術を身に付けてしっかりと仕事をこなせるオペレーターになれるよう精進します。

(山陽女子短期大学で印象的だった桜を懐かしみながら描いたイラストを添えさせていただきます)



より良いお店作りを目指して

食物栄養学科 食品開発コース 2016年3月卒 中尾 真奈



私は株式会社香月堂に入社し、フランチャイズ店のドトールコーヒーショップで、カフェスタッフとして働いています。仕事内容は、調理、食器洗い、レジ打ちなどが基本ですが、季節ごとにお店の飾り付けをしたり、メニューをアピールするためPOPを作るなどもしています。

駅にあることもあります。毎日朝7時のオープンからとても忙しいです。そのため、どうしたら効率良く仕事が出来るかを毎日考えながら働いています。

今では仕事もある程度出来るようになりました。シフト作り・アルバイトの採用面接、教育も任されるようになりました。仕事量も増え、大変ではありますが、日々学ぶ事ばかりです。

これからは、より良いお店作りを目指し、スタッフのお手本となるような存在になれたらと思っています。



健康を守る臨床検査技師になって

臨床検査学科 臨床検査コース 2018年3月卒 河野 有香



山陽女子短期大学を卒業し、アルパーク検診クリニックに勤務はじめ1年が経とうとしています。心電図や身体計測など生体検査を行う際には人の対話の難しさを感じており、先輩方に支えて頂きながら、検査のことだけではなく、どのように説明をすればお客様にわかりやすく伝えることが出来るのか日々考えながら対応しています。

短期大学で過ごした3年間は日々講義や実習で充実しており、あっという間に過ぎていきました。勉強以外にも、ボランティアやオープンキャンパスのお手伝い、病院でのアルバイトなど色々なことを経験しました。特に病院でのアルバイトは臨床検査技師の仕事を間近で見学する良い機会にもなりました。それらの経験ひとつひとつが今に繋がっているのではないかと思います。

これからもお客様のためにまたクリニックのために活躍できる臨床検査技師になれるよう研鑽を積んでいきたいと思っています。

専攻科を卒業して

専攻科(診療情報管理専攻) 2018年3月卒 野海 恵理奈



私は山陽女子短期大学専攻科修了後、中区にある医療法人翠清会 梶川病院で診療情報管理士として勤務しています。主な業務内容は、入院された患者さんのDPCコーディングや退院された患者様のカルテチェック、スキナ業務や一般病棟から回復期病棟へ移った方の転棟処理などを行っています。また、受付や会計窓口、電話対応や外来計算などの医事課の業務も並行して行っています。

8月からは当直業務も始まり、当直時は1人で患者さんの対応を行っています。在学中に学んだ医学や医療の基礎知識、ビジネスマナーやパソコン業務など、今の自分に活かされています。

入職してから半年がたちますが、まだまだわからないことも多く、優しい先輩方に助けられながら頑張っています。どの業務を行っていても、医師や看護師をはじめ、さまざまな部署とのコミュニケーションの大切さを実感しています。

初心の気持ちを忘れないように心がけ、1日でも早く多くの仕事を覚え、病院に必要とされる人材になれるように頑張っていきたいです。

「就職サポート体制について」

就職指導部課長 西一美

今年は経団連から10月9日に「就活ルール廃止決定」の正式発表があり、2021年春入社以降の新卒者を対象とする就職・採用活動のルールを策定しないことを正式に決めました。その発表は日本中の多くの学生・保護者・企業・学校関係者に大きな影響を与えました。1953年に始まった「就職協定」以来の就職・採用活動の目安はいったん廃止されますが、今後は政府主導で新たな方針づくりが行われます。政府としても2021年春入社については現行のルールを維持していく方針です。今後「就活ルール」の円滑な見直しが行われることを願うばかりです。本学では前述のような「就活ルール」の見直しがあっても学生へのきめ細やかな就活のサポートを行っていく姿勢には、何も変わることなく柔軟に対応していきます。

改めて本学の就職サポート体制についてご説明をさせて頂きますと、サポート体制は主に次の3点になります。まず1点目は「オーダーメードサポート」で、学生一人一人の個性と希望、ベースを大事に考え個別の相談を行い計画的に学業と就活を両立させています。今年も全学科コースの就活生は、100%大学の就職サポートを利用しています。計画的にサポートを利用する事で授業や試験、実習、国家試験等と並行しながら大学生活も充実したものになるよう、学生の要望も重視しています。2点目は「トレーニング強化サポート」で、就職活動やその先の社会人として必要なビジネススキルやコミュニケーションのトレーニングを個別対応で細かくサポートします。最近の傾向としては、就職活動自体に大きな不安を持つ学生もあり、漠然とした不安を個別のトレーニングを通して早目に解決しておくことが出来、その後本格的な就職活動にも自信を持って臨んでいくことが出来ています。また、個別のトレーニングは内定後から就業前にかけて、内定先の企業と連携し事前に就業後から必要になる業務を想定した内容で行っており、学生が卒業後円滑に企業での定着促進に繋がるとともに、早期離職の防止にもなっています。3点目は「Uターンサポート」で、本学は山口県・島根県等を中心に県外出身者が多く、その約半数の学生はUターンを希望しています。その希望を100%叶えたいという想いを強く持っております、早期から学生のヒヤリングに基づき個別の求人開拓に当たっています。その結果Uターン希望者の就職率は過去3年連続100%の実績となっています。

本学は主に専門職を目指す学生の割合が多く、また日頃から学科の教員とも連携を強化しながら就職支援をしており、栄養士・調理師・医療事務・診療情報管理士の専門就職率は昨年度は平均85%、臨床検査技師は100%で、本年は昨年を上回る90%台の実績が出ることが予想されています。それぞれ入学時に抱いていた夢や目標が叶う様に就職サポート体制は就活ルールの変更に影響されず、今後も今まで以上にきめ細やかで充実した内容が維持できるよう全力で取り組んで参ります。

就職対策セミナー

(平成30年後期)

学生はフォーマルdehydeとしてスーツで受講します。
各界で活躍しておられる方を講師にお迎えし、毎週1回実施しています。

1年次 フレッシュマンセミナー

- 自分と向き合う
- 新聞の読み方
- 身だしなみ
(ヘアメイク)
- 自己分析
- ヴァイオラ演奏鑑賞
- 就職体験報告会
(主な講義内容)



2年次 キャリアアップセミナー

- ストレスマネジメント
- ビジネスマナー
- 法律や税金の知識
- マネープラン
- おもてなしの心
- キャリアプラン
(主な講義内容)

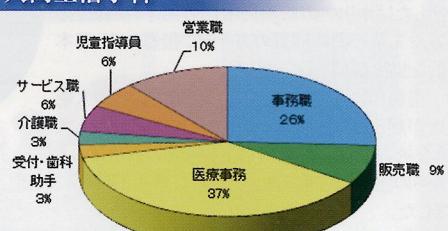


就職状況

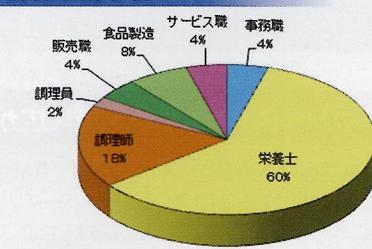
(平成29年度)

各科職種別グラフ

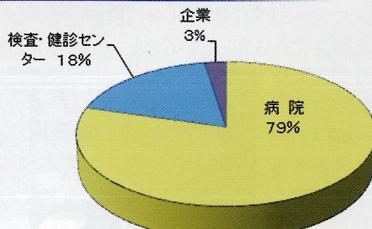
人間生活学科



食物栄養学科



臨床検査学科



第44回 日本診療情報管理学会学術大会 学生セッションin新潟

9月20日・21日に、新潟の朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)で開催された学会において、医療事務情報コース2年生5名と教員が発表しました。

過去には、第38回(平成24年7月:名古屋)と第42回(平成28年10月:東京)と2回優秀賞をいただきました。三度目の優秀賞は逃しましたが、5名の学生は表彰者に負けず劣らず、しっかり発表できました。フロアの参加者から多くの質問をいただきましたが、緊張の中にも自身の考えを返答することができました。

来年は大阪で、医療事務情報コースの新2年生が発表予定です。

テーマ

被災による心身の影響について
医療事故におけるカルテの開示と診療録記載の在り方
高齢者の介護事情と支援サービスについての国際比較
災害時の診療情報管理について～過去の災害から学ぶこと～
わが国における色彩の医療的効果の検討

氏名

川崎	真梨乃
片山	穂乃花
石田	香保
大谷	優希
森岡	野乃華



中四国支部医学検査学会に参加して 臨床検査学科 臨床検査コース2年 田畠穂梨

11月25日に香川県高松市で行われた、日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会(第51回)学生フォーラムに参加させていただきました。自分の考えをうまく伝えることが出来るか不安と緊張の中、「自校の特徴と目指す臨床検査技師像」というテーマのもと、本学の特徴と、在宅医療を中心に臨床検査技師が幅広い知識とコミュニケーション力・機動力が必要になることについて発表しました。また、他校の方々の発表と検査技師・日臨技の方の講演を聞き、他大学で行われている取り組みや、実際に臨床現場が求める臨床検査技師について、医師との連携を図るために必要なことについて学びました。

認定資格の取得とその先の可能性や、救急医療への参入など、自分にない発想の臨床検査技師のあり方についても気づくことが出来、視野が広がる非常に良い経験になりました。



廿日市消防団での活動報告

臨床検査学科 臨床検査コース3年 住吉 華奈

私は、1年生の時に学科長の勧めで廿日市学生消防団に入団し、団長を2年間勤めました。入団したばかりの頃は、消防署内の見学、消防士の方や先輩の消防団員の方々のご指導の下、基本的な規律訓練を行いました。

消防団に入団して1年経った頃に、西日本大豪雨が起きました。私たちが住んでいる広島でも大きな被害があり、避難所の清掃などのお手伝いをしました。被災地の方々からの感謝の言葉を聞いたときに、学生消防団に入団して良かったと感じました。



災害ボランティアに参加して

臨床検査学科 臨床検査コース3年 二宮 真歩

私は、平成30年7月豪雨の災害ボランティアへ友人と参加しました。

災害が起きて日も浅く交通機関が麻痺しているにも関わらず、呉のボランティアセンターに行くと、中高生を中心に沢山の人がボランティアに参加していました。私たちは、天応地区へ派遣されました。

実際に被災地を訪れるとき、テレビでの光景と実際にする光景は想像をはるかに超えるもので、とても生活できる状態ではありませんでした。私たちは、主に土砂かきの作業を行いました。ボランティアを通して、幅広い年代の人と交流することができ良い刺激となりました。また、見知らぬ人の気遣いや思いやりの大切さを改めて感じたとともに、前向きに頑張ろうとしている住民の方々や、被災にあったにもかかわらず人の助けになるように行動を取っている方の姿を見て、力が湧きました。これからもボランティアサークル活動以外でも、自分にできることを見つけて人の為になるようしていきたいと思います。



「ルバーブソース」の成果が地域に広がっています。

食物栄養学科食品開発コースでは、吉和で栽培されているルバーブという野菜を使った商品開発を行い、ルバーブソースの製造方法(H28)と食べ方(H29)について検討してきました。

この取り組みをきっかけに、ルバーブ生産者を中心にルバーブ研究会(H30年3月)が立ち上がり、商品化が進んでいます。学生たちと2年間取り組んできたことが、地域社会に広がっていくのを目の当たりにし、学生たちと商品化を見守っているところです。また、地元のもみじ饅頭(もみぢ饅頭)生産者高津堂さんでもルバーブソースを入れたもみじ饅頭(もみぢ饅頭)を開発され販売されています。



フードフェスティバルに出店しました。

平成30年10月27日・28日に広島城周辺で行われたフードフェスティバルに出店し、季節の食材を使った焼き菓子の販売を行いました。

2日間とも天候に恵まれ、たくさんの方に買っていただき、焼き菓子は両日とも早い時間で完売することができました。

普段何気なしに買っていたもの、どのように作られ、どのように販売されているか学生達は身をもって体験し、売る立場としての大変さを感じることができたと思います。

